ACCURAY

第三者評価用**Procedure**作成方法

For Precision
（Radixact System ver. 1.x）

2021.8.6_ver.A

ACCURAY

照射野5x10cm、10cm深において1Gy照射の例

始めに

- 1 Gy照射の作成例（Ex.10.3 sec）

1. 照射野5x10 cm, 10 cm深において、照射時間 60 secの測定結果を記録します。
2. 測定結果より、1 Gy照射に必要となる照射時間を算出します。

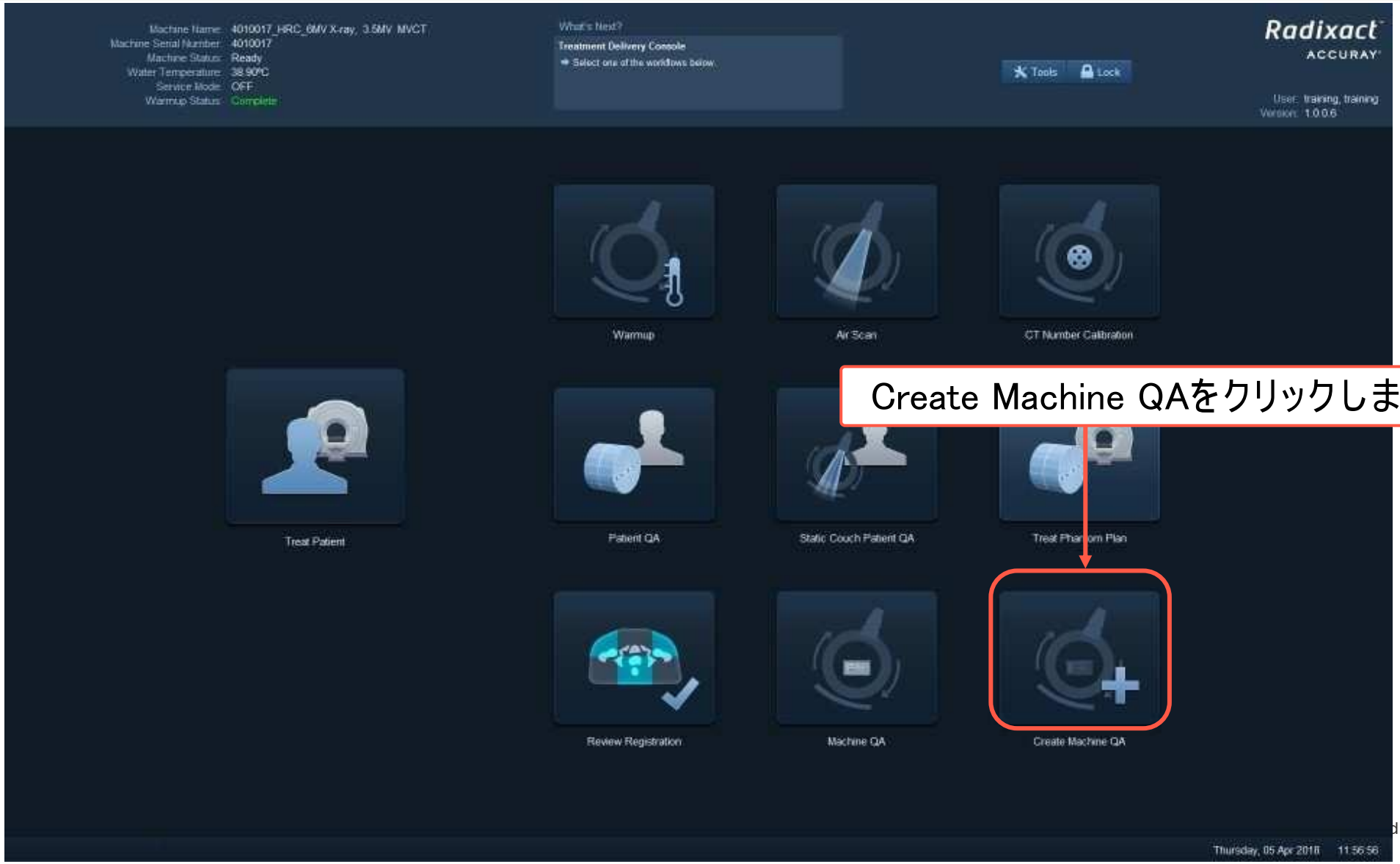
例）測定結果が5.83 Gyであった場合

- 1 Gyの照射時間 ＝ 60÷5.83＝ 10.3 sec（小数点2位四捨五入）
- Warm Upの10 secと合わせ、照射時間は、20.3 secとなります。

※本手順書ではこの照射時間例に沿った値を使用しますが、実際にはご施設の値を使用してください。

Procedure作成方法

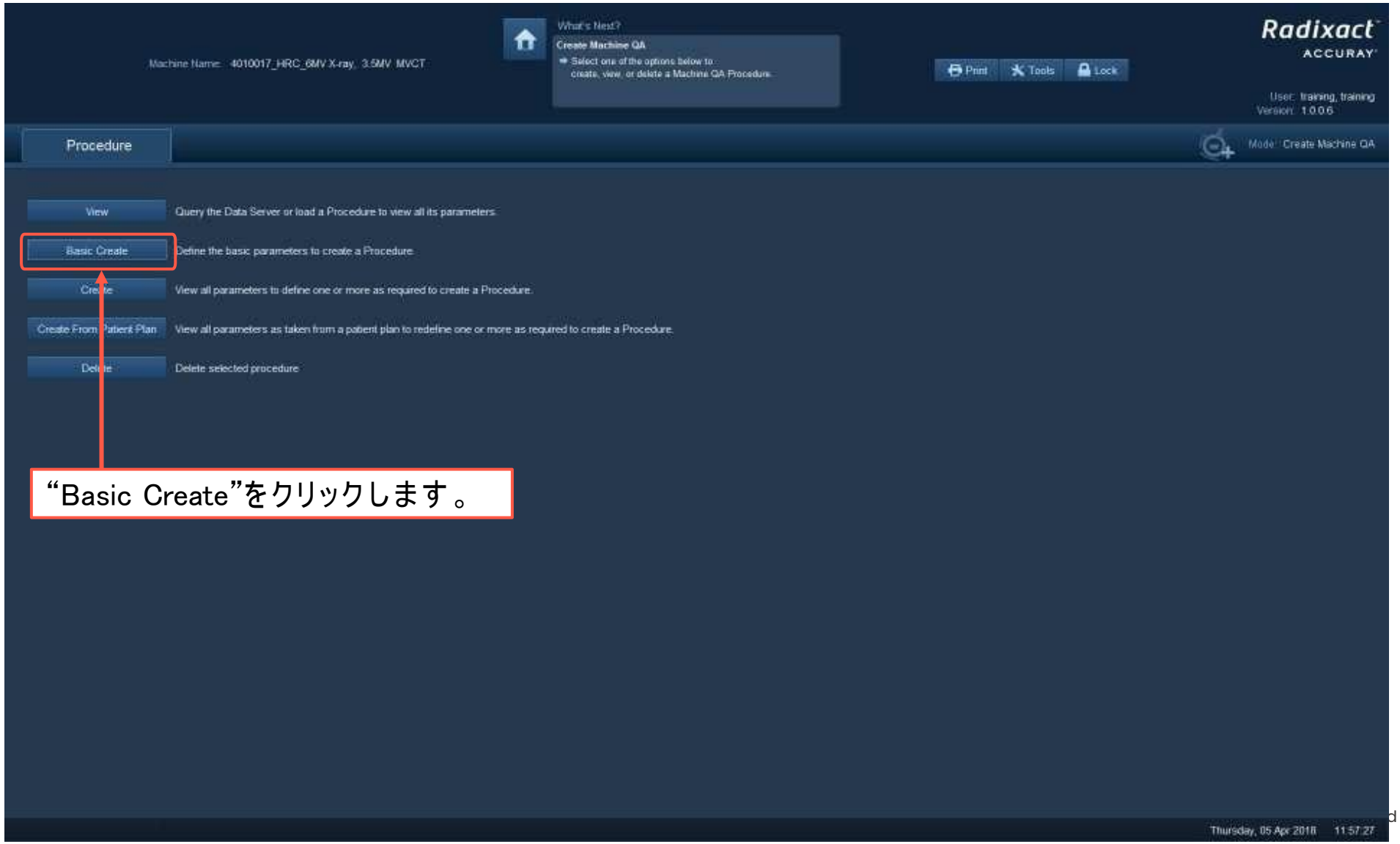
Create Machine QAを選択



Create Machine QAをクリックします。

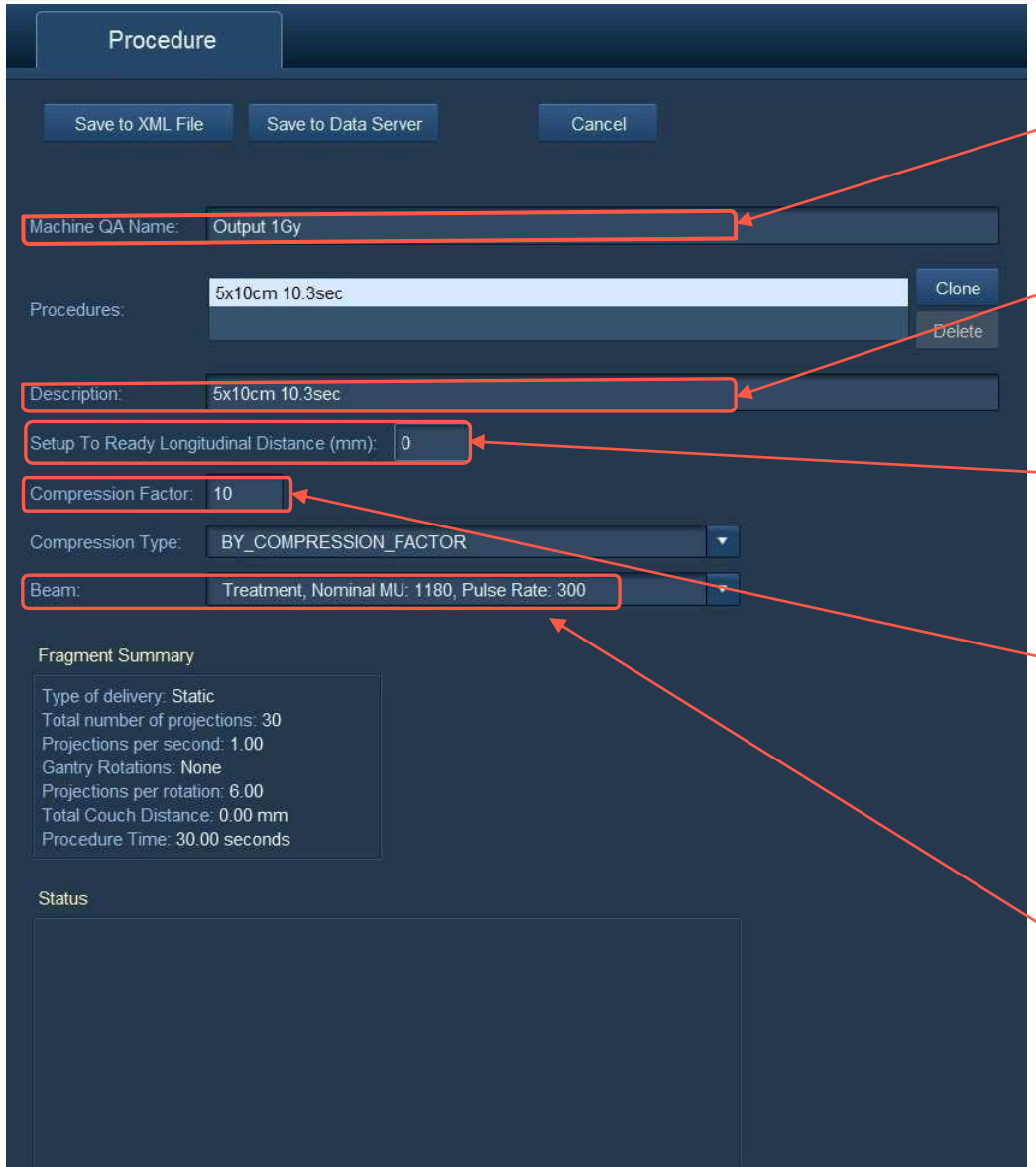
Procedure作成方法

Basic Createを選択



Procedure作成方法

基本設定



Machine QA Nameを入力します。
※ 本例では“Output 1Gy”とします。

Descriptionを入力します。
※ 本例では“5x10cm 10.3sec”とします。

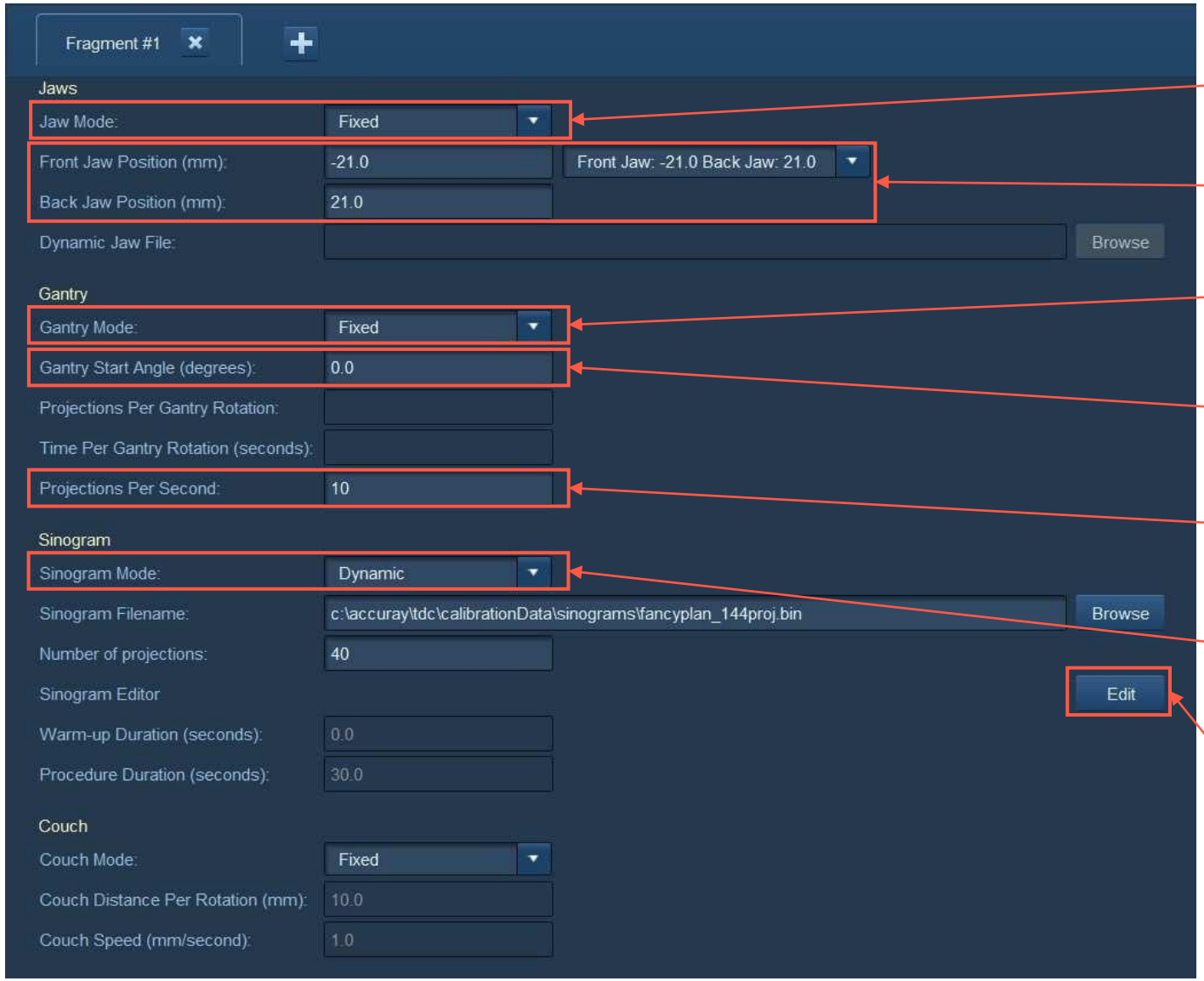
Setup To…に“0”を入力します。
この値はReady-Yes後のCouch移動量 で、“0”にした場合、
測定時にあらかじ めCouchをガントリ内に入れておきます。

Compression Factorを“10”、Compression Typeを
BY_COMPRESSION_FACTORとします。

Beamは“Treatment…“を選択します。

Procedure作成方法

Jaws、Gantry、Sonogramの設定



Jaw Modeを“Fixed”に設定します。

“Front Jaw: -21.0 Back Jaw: 21.0”を選択します。

Gantry Modeを“Fixed”に設定します。

Gantry Start Angleを“0.0”にします。

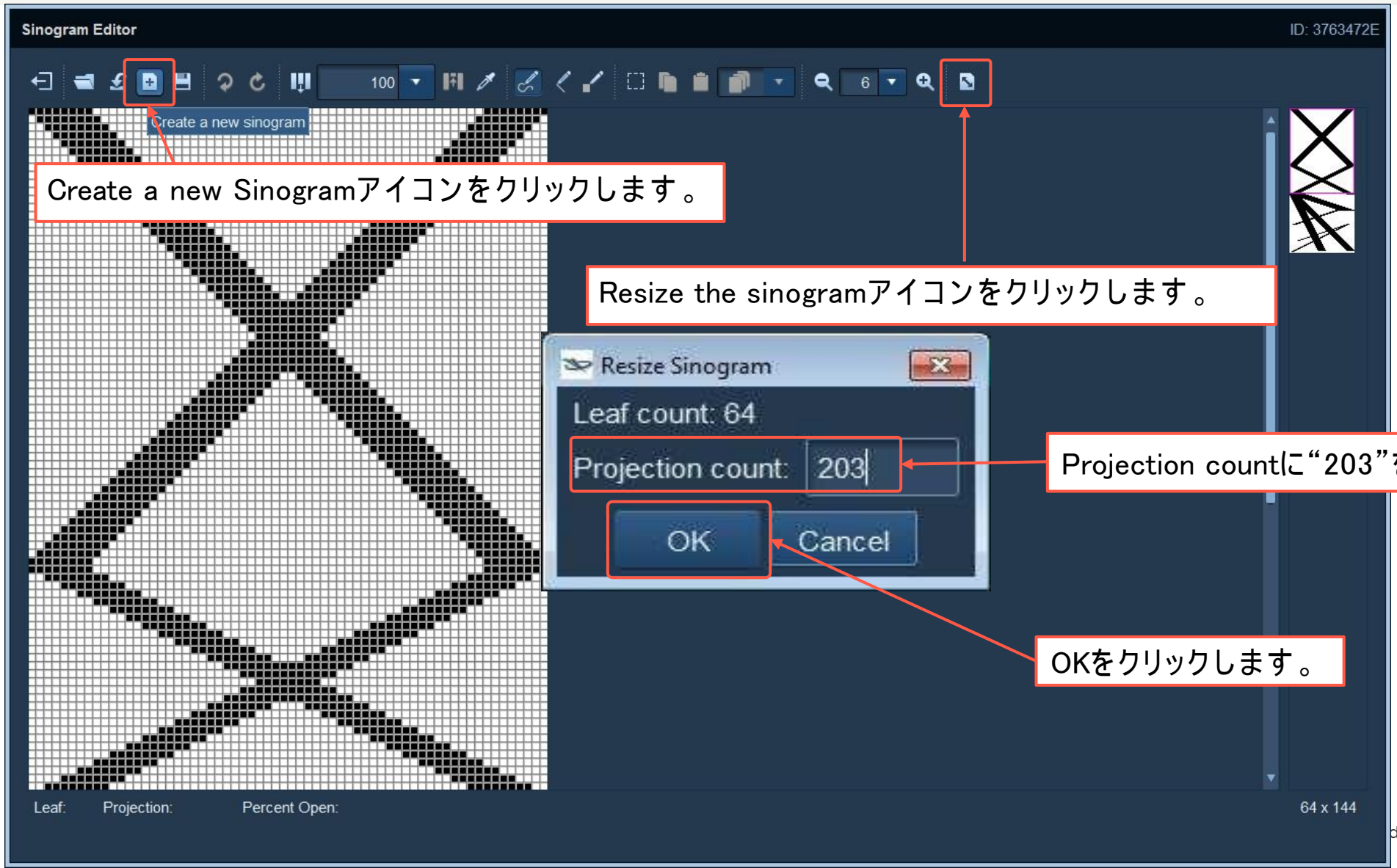
Projection Per Secondを“10”にします。
1秒当たり10Projectionになります。

Sinogram Modeを“Dynamic”に設定します。

Editをクリックします。

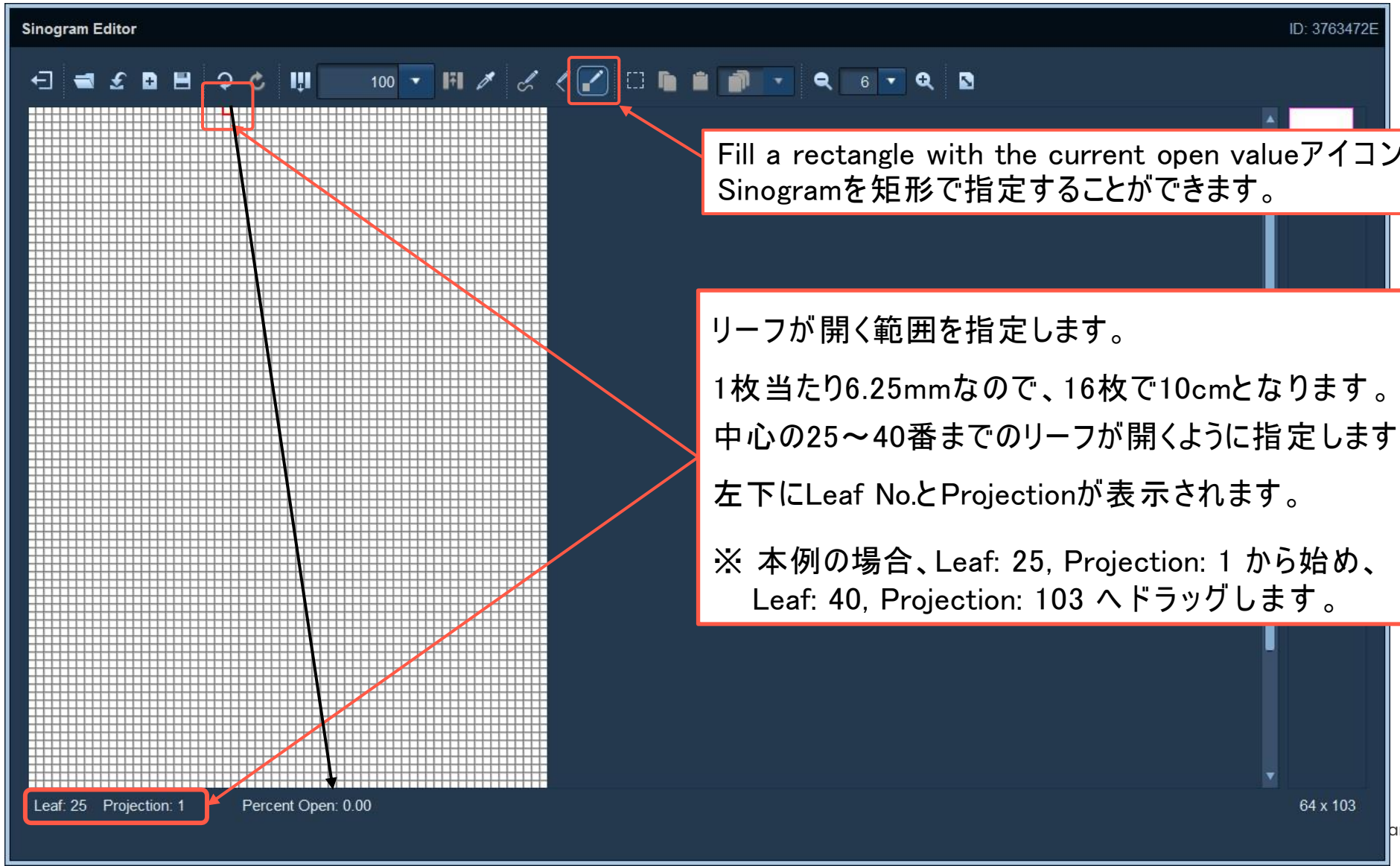
Procedure作成方法

Sinogramの編集①



Procedure作成方法

Sinogramの編集②



Fill a rectangle with the current open valueアイコンをクリックします。
Sinogramを矩形で指定することができます。

リーフが開く範囲を指定します。

1枚当たり6.25mmなので、16枚で10cmとなります。

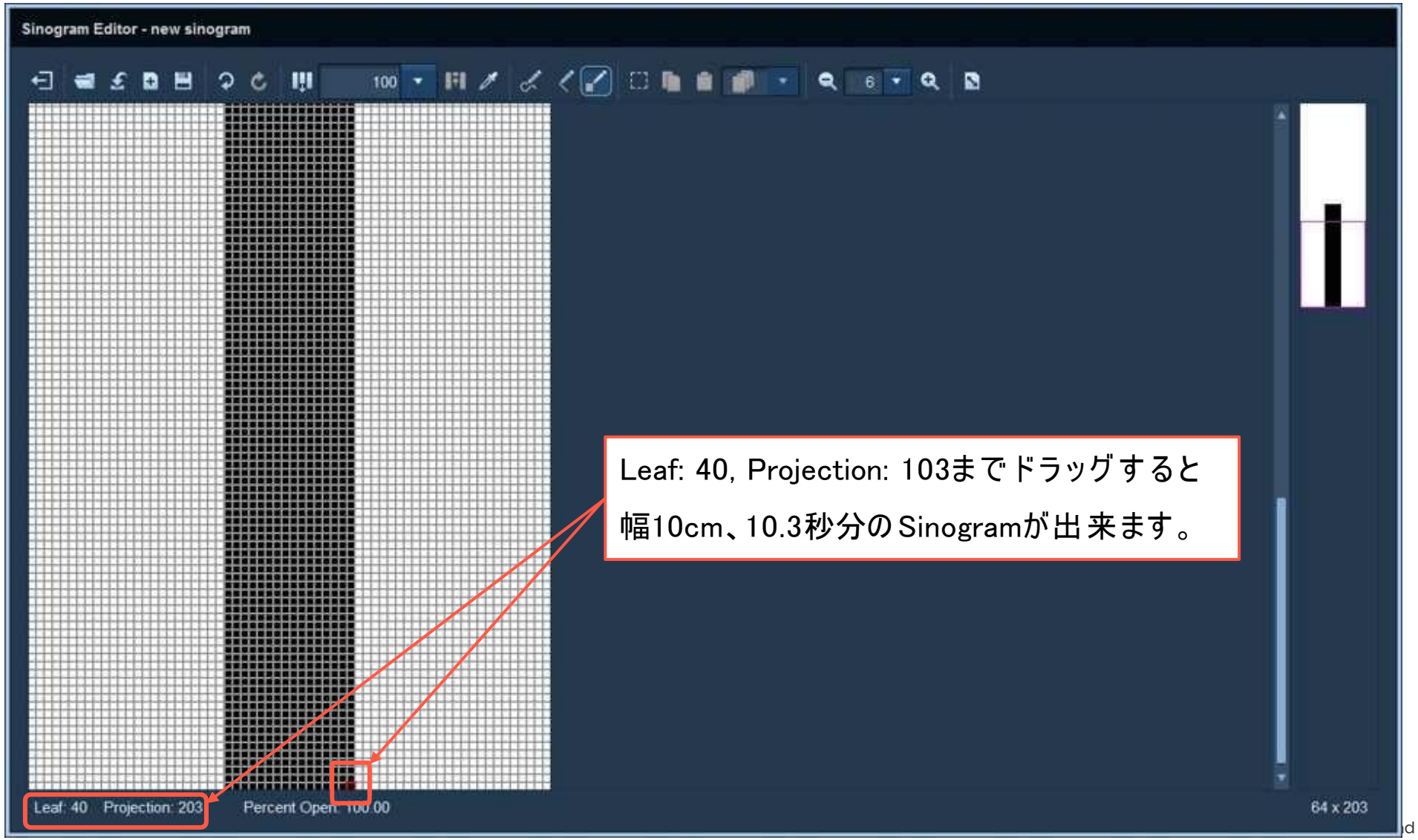
中心の25～40番までのリーフが開くように指定します。

左下にLeaf No.とProjectionが表示されます。

※ 本例の場合、Leaf: 25, Projection: 1 から始め、
Leaf: 40, Projection: 103 へドラッグします。

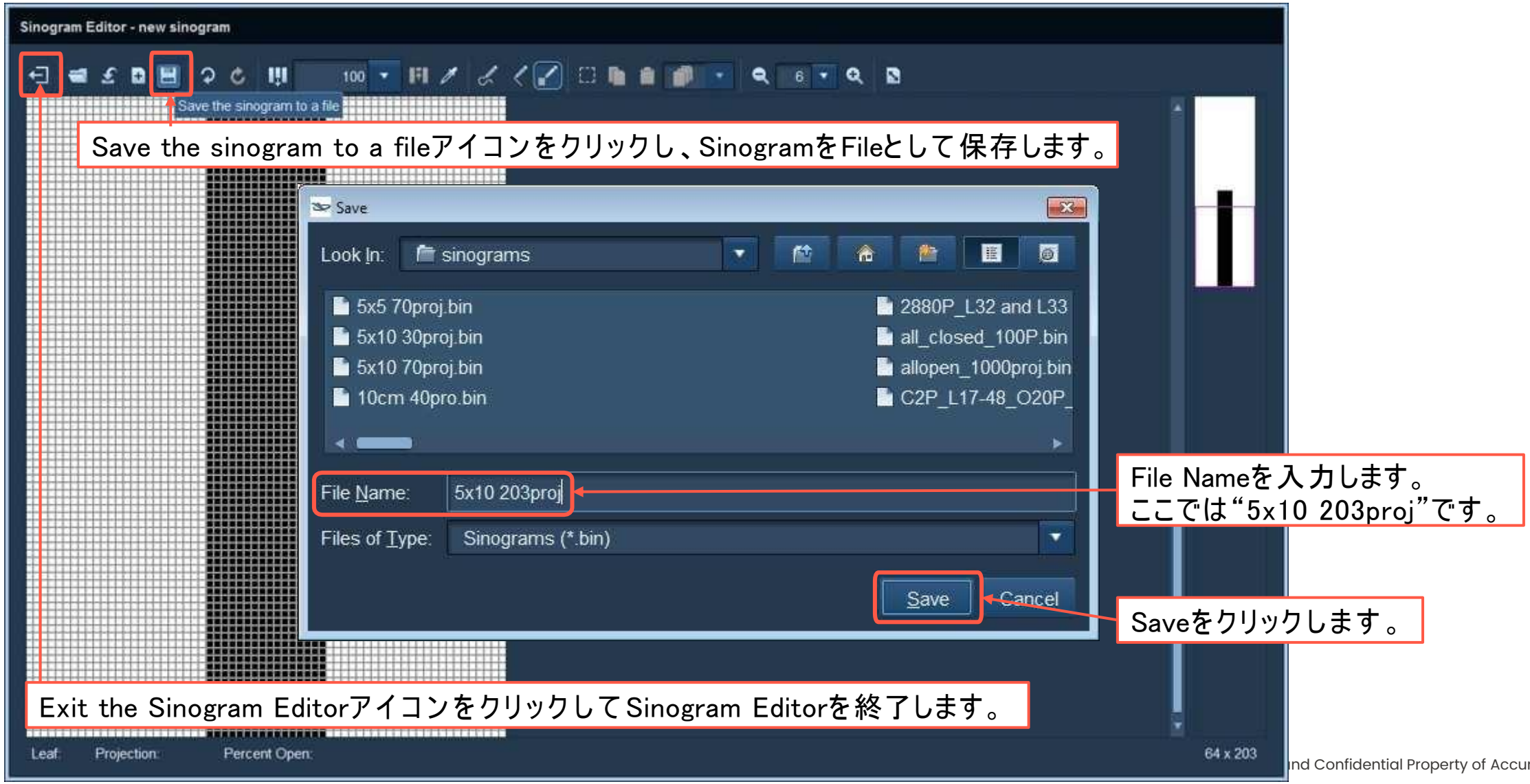
Procedure作成方法

Sinogramの編集③



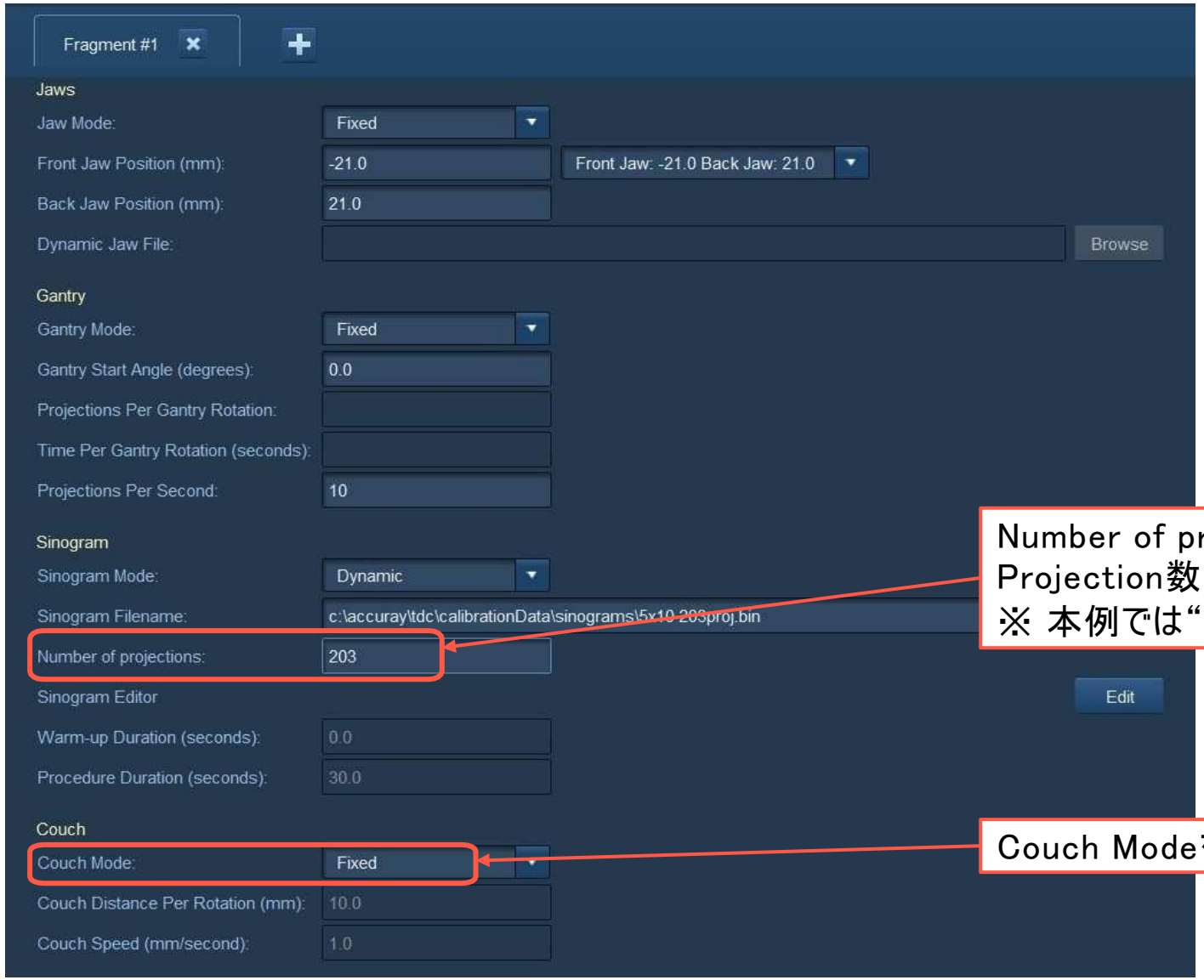
Procedure作成方法

Sinogramの保存



Procedure作成方法

Projection•Couchの設定

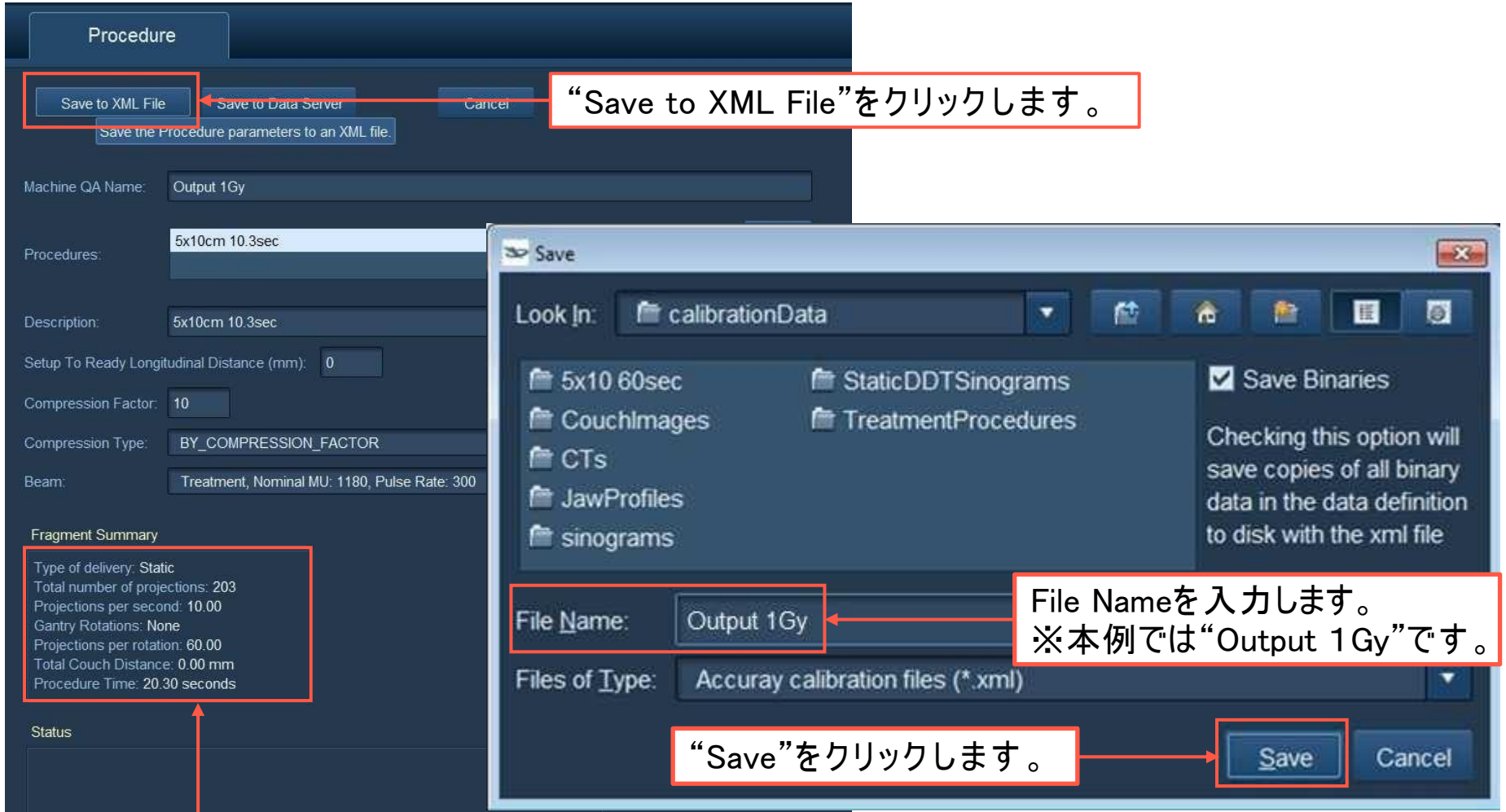


Number of projectionに実際に使用するProjection数を入力します。
※ 本例では“203”です。

Couch Modeを“Fix”に設定します。

Procedure作成方法

XMLファイルとして保存



“Save to XML File”をクリックします。

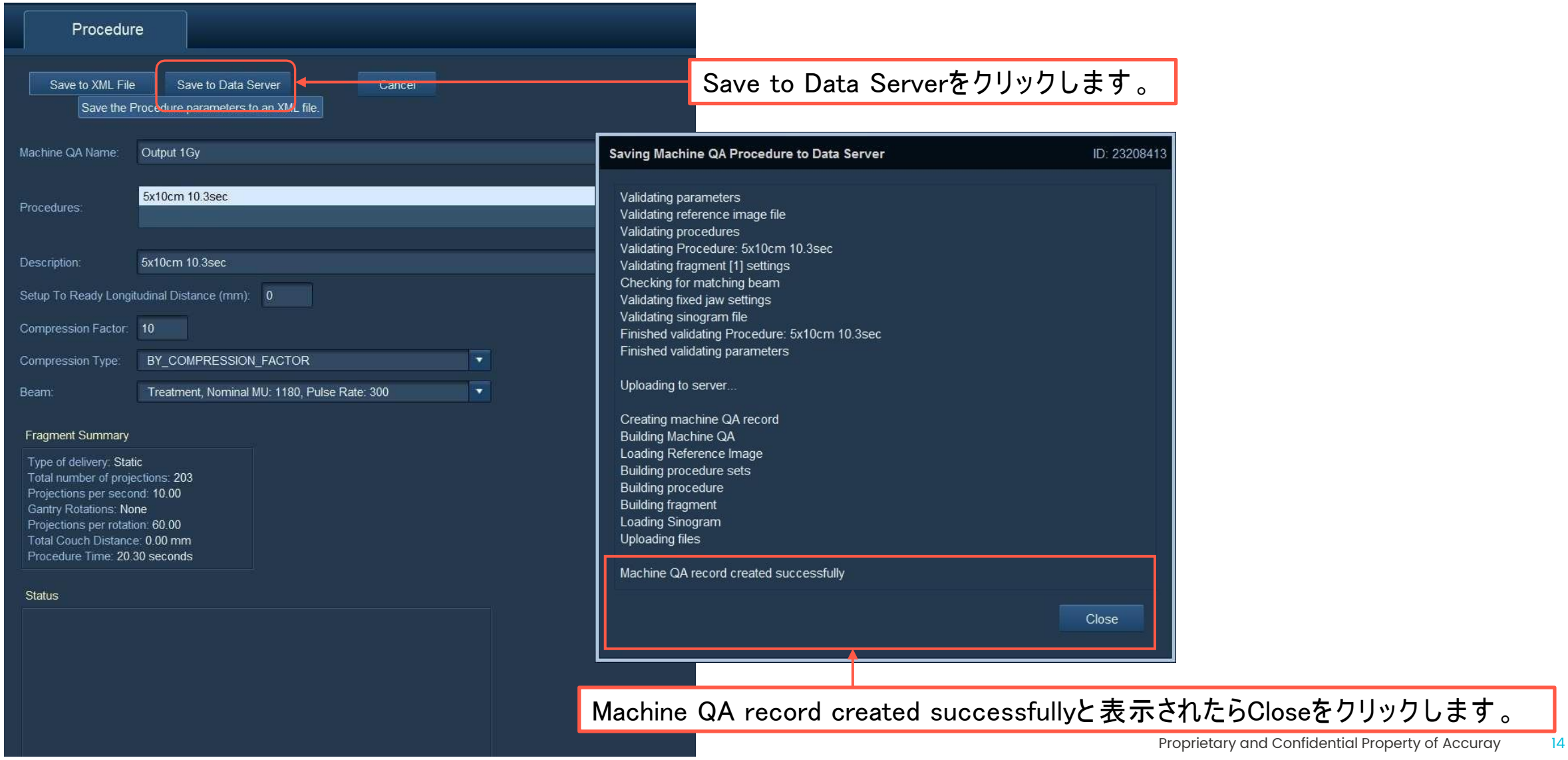
File Nameを入力します。
※本例では“Output 1Gy”です。

“Save”をクリックします。

Fragment SummaryでProjection Timeを確認します。
※ 本例では20.30secondsです。

Procedure作成方法

データサーバーに保存



Save to Data Serverをクリックします。

Machine QA record created successfullyと表示されたらCloseをクリックします。

Thank you

ACCURAY